

## サケ稚魚放流 事業など決定

帯広川伏古地区  
子どもの水辺協

帯広川伏古地区子どもの水辺協議会(関川三男会長、運営委員37人)の定期総会が、帯広市内の西十号会館(西21南2)で開かれた。今年度の事業計画として、サケ稚魚の放流や子供たちの教育支援における川流れ体験会の実施などを決め

た。

同協議会は西帯広地区の帯広川保護に取り組んでおり、今年で5年目を迎える。総会は4月25日に開かれ、

約25人が出席した。関川会長が「前年度事業の参加者が延べ10000人を超えた。活動が活発になる中、改めて事故のないよう気を引き締めよう」とあいさつした。

帯広市市民提案型協働のまちづくり支援事業に推薦

された「エコな地域づくりの会」と連携し、河川の枯れ草、枯れ葉などを堆肥化する取り組みについても協議した。

任期満了に伴う役員改選では関川会長を再任。副会長には同協議会創立時から務めた澤田元さんに代わり、神田祐市さんが新たに就いた。(小縣大輝)

サケの稚魚放流などの事業計画を決めた総会

